

進取の氣

自分から進んでものごとを行う心



令和7年度「いじめゼロ宣言」 ～後悔ではなく航海～



毎年、生徒会本部主催で、「いじめ防止に向けた取組」を実施しています。今年度は、6月24日（火）の生徒朝会で全校生徒が次のことを話し合いました。

- ① 自分がいじめ防止について日頃意識していること。
- ② いじめが起きたとき、自分ができること。

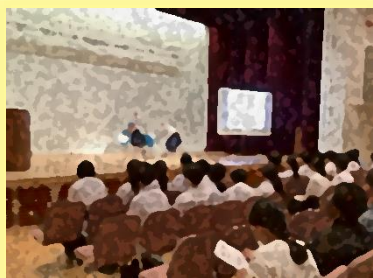
グループで話し合ったことを参考に、一人一人が「行動宣言」をカードに書きました。先生方もそれぞれの視点でメッセージを書いています。

全員のカードを生徒会本部の皆さんが1枚のアートにしてくれました。今年のモチーフは、生徒会スローガン「後悔ではなく航海」にちなんで船の形に仕上げてくれました。スローガンの題字も手書きで作成してくれました。



9月18日（木）の生徒朝会でお披露目され、全校生徒で「行動宣言」を共有しました。新潟市が教育振興基本計画（にいがた学びのコンパス）を策定するにあたり、市民アンケートを取りました。その中の子ども向けアンケートの中で、「安心して過ごすことのできる学校は」の問いに対して、最も多い回答は「いじめのない学校」（小学6年生・中学3年生・高校3年生）です。全校生徒が安心して『航海』（チャレンジ）するためにも、いじめのない学校を目指します。夏休み以降の『航海』（チャレンジ）をいくつか紹介します。

『航海』その1 第34回 新潟市中学校英語発表会 8月20日(水) 黒崎市民会館



3年生の□□□□さんと□□□□さんが、校内のオーディションを経て、英語発表会のスキットの部に出場しました。題名は「HOT TODAY」
 どんどん暑くなる地球。真夏の自転車登校を寒くするアイデアを発表しました。



A: It looks hot today. (Turn on the TV)

TV: Today's weather in Japan. It will be a rainy and muggy day in Hokkaido. It will be sunny in Tokyo, but the temperature will not rise much because of the strong wind. Sendai will continue to be cloudy, and it will be a calm and comfortable day. It will be sunny in Niigata from morning to night, and the highest temperature is forecast to be 35°C. Please be careful of the heat!

A: 35°C!? It's too hot!?

But... I have to go to school by bicycle...

(Riding a bicycle Hot acting)

I finally arrived...

A: Good morning B...

B: Hi A! You look very tired. What's up?

A: It's too hot... do you know the temperature outside now?

B: I don't know. what's the temperature now?

A: It's 35 degrees celsius!!! But I came by bicycle! 😞 I thought it was going to catch fire.

B: How cool are you?! Are your bicycle's tires burning?

A: Maybe. By the way, you also use a bicycle. Why are you so energetic? (Bが傷だらけなことに気づく)

傷だらけのB

A: ??? What happened!? Was there an accident!?!?

B: It can't be true! I came to school in high spirits today too.

A: So why are you so injured? I can't imagine you falling off your bicycle if you're riding a bicycle all year round!!

B: I came to the school by unicycle today! I fell over because of the weight of my backpack. 😞

😞😞

A: Are you serious? A unicycle?? You're insane from the heat. What made you think of that?

B: You're right. I'm not used to riding a unicycle, but my bicycle is too tired.

A: 今日は暑そうですね。(テレビをつけて)

テレビをつける 今日の日本の天気です。北海道は雨で蒸し暑い一日でしょう。東京は晴れますが、風が強いので気温はあまり上がらないでしょう。新潟は朝から晩まで晴れ、最高気温は35°Cの予想です!

A: 35°C!? 暑すぎませんか?

でも自転車通学なんです。

暑い

やっと着いた

A: おはようございます。

B: やあ、A! とても疲れているようだね。どうしたの?

A: 暑すぎるよ...今の外の気温知ってる?

B: 知らないよ。今の気温は?

A: 35度です! でも自転車で来たんだよ! 😞火事になるかと思ったよ。

B: どれだけ涼しいんだよ! 自転車のタイヤ、燃えてませんか?

A: たぶんね。ところで、あなたも自転車を使っていますね。なんでそんなに元気なの? 傷だらけのB

A: ??? どうしたんですか? 事故でもあったんですか!?

B: そんなはずはありません! 今日も元気に登校したのに。

A: じゃあ、なんでそんなにケガしてるの? 年中自転車に乗っているあなたが、自転車から転ぶなんて考えられないですよ!

B: 今日は一輪車で登校しました! リュックの重さで転んじゃいました 😞😞😞。

A: マジで? 一輪車? 暑さで頭おかしくなったのか? なんてそんなこと考えたの?

B: そうだね。一輪車は乗り慣れないけど、自転車は疲れすぎる。

『航海』その2 新潟市子ども条例に係る中学生の意見表明及び意見交換 9月29日

2022年に制定された「新潟市子ども条例」子どもにとって大切な権利が記されています。

○安心して生きる権利 ○自分らしく生きる権利 ○豊かに生き、育つ権利 ○身近なおとなとの受容的な関係をつくる権利 ○社会に参加する権利 です。生徒会本部役員はこの日を迎えるにあたって、「新潟市子ども条例」を熟読し、「市民や校内に理解を広めるための方策」や「子育てにやさしいまち」の実現に向けてどんなことに気をつけるかなど、中学生としての意見を西地区の8校と意見交換しました。ここで、交換された意見は、新潟市子ども政策課と新潟市教育委員会学校支援課を通じて、新潟市に届けられます。

【参加生徒】

生徒会長 □□□□さん 副会長 □□□□さん

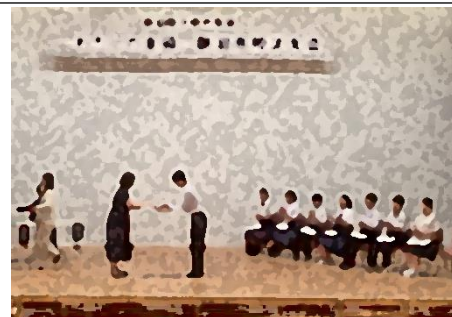
事務局長 □□□□さん 事務局員 □□□□さん □□□□さん



『航海』その3 新潟県少年の主張～私の主張～ 新潟市地区大会 8月19日(火)



新潟市教育委員会・新潟市青少年育成協議会が主催する、令和7年度新潟県少年の主張～わたしの主張～新潟市地区大会に、□□□□さんが、第一次選考を突破して出場しました。作品の応募に際して、中野小屋地区育成協議会長の朝妻浩樹様よりご推薦をいただきました。



大会当日は、10名の中学生が、家庭、学校生活、地域社会（社会）、身の回りや友達との関わりなどについて、社会や世界に向けて自分の意見を発表しました。どの生徒も、原稿を読むのではなく、感情をこめ、時には身振り手振りを交えて、自分の考えを聴衆に伝えました。



出場が決まった時から練習を重ね、本番は堂々と発表してくれました。奨励賞を受賞して、新潟市青少年育成協議会長の郷扶二子様より賞状と副賞を贈呈していただきました。頑張りました。

ポイ捨てがもたらす僕たちの未来

新潟市立中野小屋中学校 □□

□□□□

皆さんはポイ捨てされたゴミをどうしていますか。

僕が住んでいる地域では、国道沿いや田んぼ付近にタバコの吸い殻、ペットボトルや缶などの飲み物のゴミ、スーパーなどで買った食品のプラスチック容器が袋にまとめられて捨てられていることがあります。ある時には車のタイヤも捨てられていました。

こうした小さなゴミから、大きなゴミは一人一人が「バレなきゃ良いだろう」と思って捨てられている。そんな現状があります。

新潟市のホームページで調べたところ、新潟市は「ばい捨て等及び路上喫煙の防止に関する条例」を平成二十年頃から設定しています。違反者は一千万円の罰金が課せられます。しかし、実際にはポイ捨てがまだ起こっていました。

では、何故ポイ捨てが多いのでしょうか。まず、ポイ捨ての多くは車から捨てられていると思います。なぜなら、車の通りが激しい国道だからこそ、その付近にポイ捨てが多いのではないのでしょうか。ポイ捨ての原因は三つあります。一つ目はポイ捨てをしている人たちの「意識」だと考えます。これは、「ポイ捨てをしても誰かが綺麗にしてくれるから良いや」という思いと「バレなきゃ良いだろう」という思いがあるからだだと思います。二つ目は、ポイ捨てされたゴミが目立ちにくい事だと考えます。国道付近には草がたくさん生えており、ポイ捨てされたゴミが目では分かりづらくなっています。三つ目は、ゴミ箱の少なさだと考えます。海外では、日本と同じでポイ捨てをした時の罰金はあるのですが特にシンガポールでは、ドリンクの缶などで二十万円の罰金になる恐れがあります。また五メートルから二十五メートル間隔でゴミ箱が設置されています。このようにシンガポールと比べるとゴミ箱の少なさがわかります。

僕は小学生の時に毎年地域の行事でゴミ拾いをしていました。暑い中歩き回ってするゴミ拾いはとても大変です。ゴミ拾いは、道端の小さなゴミを隅から隅まで探してゴミを取っていきます。時間や人数にも限りがあるので全てのゴミを拾えるわけではありません。ポイ捨てするのは簡単ですが、そのゴミを綺麗にする方が大変なのです。今、中学生になってからも地域のゴミ拾いに参加しています。毎年綺麗にしても落ちているゴミは無くなりません。

そうしたら僕達の未来はどうなっていくのでしょうか。「もしゴミを拾う人がいなくなったら」「もし、ポイ捨てが積み重なったら」どうなるのでしょうか。町中にゴミが広がり、環境に影響が出てきます。新潟の美しい自然がゴミによって汚れてしまいます。

そうならない為にどうすれば良いのでしょうか。まず、学校でのぼり旗など看板の作成や、地域で定期的に、ゴミ拾いを行う必要があります。また、ゴミが目でも分かりやすいように、草刈りやフェンスの設置が大切になってきます。ゴミ拾いウォークを各地域に広めることで、ゴミ拾いと高齢者など参加者の健康維持につながってきます。そして道路沿いに小さな鳥居のような物を設置すると良いと思います。そうするとポイ捨てをしている人はバチが当たるのではないかなという思いが強くなるからです。ポイ捨てを少なくするために、このように行動する場や相手の「意識」を変える物を作っていくことが大切です。

これからも僕は積極的にゴミ拾いの活動に参加していきたいと思います。誰か一人でも「別に良いや」という気持ちにならないようにする為、日々の生活の中でそういった行動を一人一人起こす事が美しい未来を作っていく為に大切なことなのです。

綺麗で楽しい未来にする為にポイ捨てという問題について皆さんで考えてみませんか。

地域合同防災学習

9. 19(金)

～避難所で多くの人が安心して過ごすために大切なこと～

西地区公民館様・コミュニティ中野小屋様からのご支援を受けて、毎年防災について全校で考え、実践することを通して、知識をインプットしたり、最新の知識にアップデートしたりする日が地域合同防災学習です。今年度も、日本防災士会・新潟県支部の長濱直也様はじめ、5名の防災士さんからご指導をいただきました。



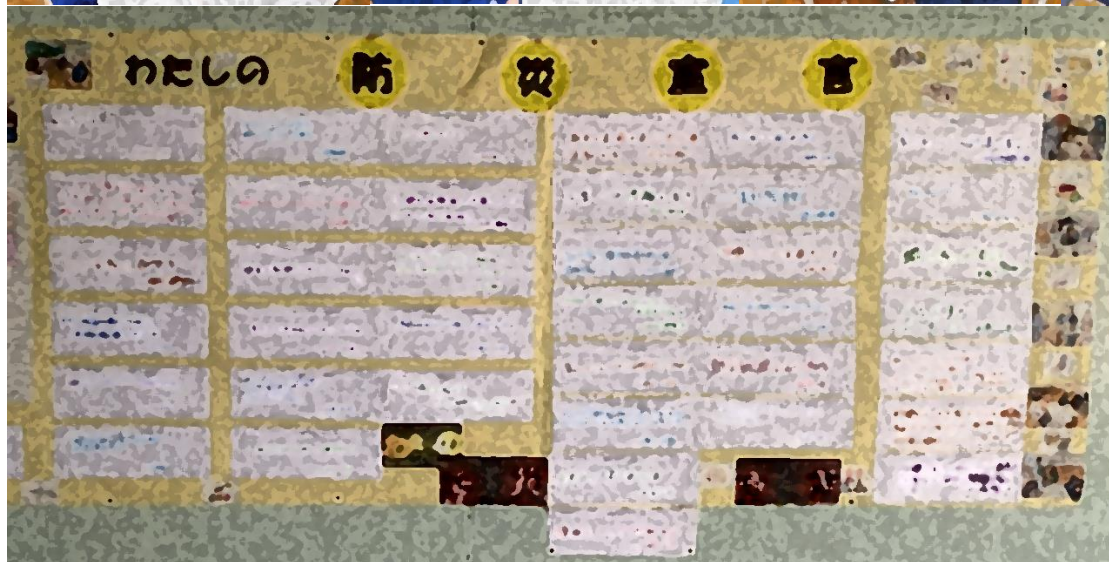
→2年生『避難の実際のタイムラインを考える』
←3年生『非常食作り』



←1年生『地震時の備えを考える』
→3年生『避難所での食事提供の受付を考える』



午後は、防災士さんによるワークショップを実施しました。『避難所で多くの人が安心して過ごすために大切なこと』をテーマに、要配慮者（車いすの避難者、乳幼児を持つ保護者、日本語が話せない外国人、視覚障がい者、聴覚障がい者など）の困りそうなことを予想して、ワークシートに書き出しました。先生や公民館長さん、区役所の職員さん、コミュニティ協議会の皆さんと真剣に考えました。その後、解決のための支援方法をまとめて全体で共有しました。防災士さんに気づきを褒めていただくなど、和やかな雰囲気での学習でした。



最後に、「要配慮者を支援するために大切にしていきたいこと」「助け合える関係を作るために、学校や普段の生活の中でできること」を一人一人が考えて宣言文を作成しました。

災害時には、一人だけで頑張り過ぎないことが大切なのだ改めて学ぶことができました。